

# 持続可能な農業の「今」を知る！ シンポジウム「GAP Japan 2024」開催！

一般財団法人 日本 GAP 協会は、食品安全、環境保全、人権の尊重等を重視し、持続可能な農業に貢献する取り組みである GAP (Good Agricultural Practices) に関する日本最大級のシンポジウム「GAP Japan 2024」を、2024 年 11 月 27 日 (水) に有明セントラルタワーホール A で開催します。



詳細はこちらから：<https://jgap.jp/gapjapan2024/index.html>

## ■ GAP Japan 2024

今年のテーマは「GAP 標準化への胎動」です。GAP は東京オリンピック・パラリンピックや 2025 年の大阪・関西万博、2027 年の国際園芸博でも調達基準に採用されており、持続可能な社会を目指すための重要なツールとして農業界に広く認識されています。このような背景から、多くの食品事業者が GAP 認証農産物の調達を進めるとともに、生産者や産地も認証取得に向けた取り組みを加速させています。

本シンポジウムでは、行政や国際団体からの最新の動向、生産者・流通小売業・外食産業の事例紹介など、幅広い視点から取り組みを共有し、GAP 普及の進捗について情報交換を行います。

さらに、会場参加者には、懇親会を通じて業界関係者と直接交流する貴重な機会もあります。また、全国各地からでも参加可能なオンライン配信は無料でご参加いただけます。

GAP を通じて日本の持続可能な農業の未来を共に考える機会として、ぜひご参加ください。

## ■ 開催概要

日時：2024 年 11 月 27 日 (水) 13:00~17:30 (終了後、懇親会あり)

場所：有明セントラルタワーホール A (東京都江東区有明 3-7-18) / Zoom ウェビナーで同時配信

主催：一般財団法人 日本 GAP 協会

参加費：会場参加 【一般】5,000 円 【日本 GAP 協会員】3,000 円

オンライン参加 無料

報道関係者席をご用意しておりますので、新聞・雑誌等の取材など報道関係者としての参加をご希望の方は [info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp) までご連絡ください。(参加費無料)

参加お申込みはこちら：<https://jgap.jp/gapjapan2024/index.html>

-----報道関係の方からのお問い合わせ先-----

一般財団法人 日本 GAP 協会 代表専務理事 荻野 TEL: 03-5215-1112 E-MAIL: [info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp)

## ■プログラム

1. オープニング 司会 農ジャーナリスト 小谷 あゆみ
2. 「GAPとSDGs 農業の日」記念日登録証授与式  
(一社)日本記念日協会代表理事 加瀬 清志、(一財)日本 GAP 協会理事長 木内 博一
3. 世界レベルでの GAP 標準化の胎動
  - ①JGAP/ASIAGAP の到達点と今後  
(一財)日本 GAP 協会代表理事専務 荻野 宏
  - ②GFSI の到達点と今後  
The Consumer Goods Forum, Japan シニアマネージャー 大久保 力
  - ③GLOBALG.A.P.の到達点と今後  
GLOBALG.A.P.テクニカルキーアカウントマネージャー 武末 克久講演者によるパネルトーク  
【モデレーター】The Consumer Goods Forum, Japan シニアマネージャー 大久保 力
4. 協賛企業からのお知らせ  
持続可能な農業に貢献するアグリノート  
ウォーターセル(株) 渡辺 徹
5. 日本国内における GAP 標準化への胎動
  - ①農林水産省における GAP の推進方策-産地としての取り組みの推進-  
農林水産省農産局農業環境対策課長 松本 賢英
  - ②JA における GAP の推進方策  
(一社)全国農業協同組合中央会 営農・担い手支援部営農企画課 城向 孝洋
  - ③農場 HACCP 認証制度の現状と推進状況  
(公社)中央畜産会(農場 HACCP 認証協議会) 参与 山本 洋一講演者によるパネルトーク  
【モデレーター】住友商事(株)顧問/(一財)日本 GAP 協会評議員 針原 寿朗
6. GAP Japan アワード 2024
  - ① 講評、表彰式
  - ② 受賞者による記念講演  
会津よつば農業協同組合 南郷トマト生産組合 「100年続く産地を目指して!産地まるごと GAP 認証!」  
(株)サンプラザ 「大阪の地域スーパー発! GAP 認証の訴求で顧客から支持!」  
(株)ホリ牧場 「震災にも負けず、JGAP 認証を活かした A2 ミルク生産を実現!」  
(株)リンガーハット 国産野菜 100%から、JGAP 認証農産物使用に向け、日本の農業を支援!

## ■懇親会

シンポジウム終了後、懇親会を開催いたします。会場にご参加の皆様は、自由にご参加いただけます。JGAP 認証の農畜産物を使用したお料理をご用意しておりますので、ぜひお越しください。



※昨年開催の「GAP Japan 2023」のメニュー例

-----報道関係の方からのお問い合わせ先-----

## 報道関係各位

### ■後援

農林水産省 消費者庁 一般社団法人日本食農連携機構 一般社団法人全国農業改良普及支援協会  
一般社団法人全国肥料商連合会 株式会社日本政策金融公庫 公益財団法人世界緑茶協会  
公益財団法人日本適合性認定協会 公益社団法人日本茶業中央会 公益社団法人日本農業法人協会  
全国茶生産団体連合会 一般社団法人全国農業会議所 特定非営利活動法人日本プロ農業総合支援機構  
日本農業普及学会 日本フードシステム学会

### ■協賛

株式会社アグリコミュニケーションズ ウォーターセル株式会社 双日株式会社 株式会社つくば分析センター  
一般社団法人日本油料検定協会 一般財団法人日本品質保証機構

### ■GAPとは

GAPとは Good Agricultural Practices の頭文字を取ったものであり、農畜産物を生産するうえで生産者が守るべき取り組みのことを指し、「良い農業の取り組み」と訳されます。

日本 GAP 協会が運営する JGAP や ASIAGAP は、食品安全、環境保全、労働安全、農場管理、人権の尊重、家畜衛生やアニマルウェルフェア（動物福祉）の取り組みを基礎とした農場の認証制度であり、持続可能な農業の実現、SDGs の推進に大きく貢献するものです。

また、農林水産省においても GAP の推進を重要な政策課題としているところであり、多くの食品事業者から支持されるとともに、2025 年の大阪・関西万博における調達基準にも採用されています。

## JGAP 持続可能な農業に貢献する 7つの取り組み



### ■一般財団法人 日本 GAP 協会について

日本 GAP 協会は、JGAP/ASIAGAP という 2 つの認証制度の開発、運営および普及活動を行う一般財団法人です。食の安全、安心、持続可能な農業の実現により、広く社会に貢献することを目的としています。

#### 【協会概要】



名称：一般財団法人 日本 GAP 協会

事務所：〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3 番 29 号 日本農業研究所ビル 4 階

TEL:03-5215-1112（受付時間：平日 9 時～18 時） FAX:03-5215-1113

設立：2015 年 1 月

活動内容：1. JGAP/ASIAGAP 認証プログラムの開発  
2. JGAP/ASIAGAP の管理、運営  
3. JGAP/ASIAGAP の普及、広報

-----報道関係の方からのお問い合わせ先-----

一般財団法人 日本 GAP 協会 代表専務理事 荻野 TEL: 03-5215-1112 E-MAIL: info@jgap.jp

## 報道関係各位

HP: <https://jgap.jp/>

E-MAIL: [info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp)

評議員:新福 秀秋(有限会社新福青果 会長)

中嶋 康博(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)

針原 寿朗(住友商事株式会社 顧問)

理事長:木内 博一(農事組合法人和郷園 代表理事)

代表理事専務:荻野 宏(一般財団法人 日本 GAP 協会)

代表理事:武田 泰明(特定非営利活動法人 GAP 総合研究所 専務理事)

理事:荒木 恵美子(東海大学海洋学部水産学科 客員教授)

栗原 眞(株式会社サタケ プラント事業本部推進室 室長)

佐藤 繁(岩手大学農学部共同獣医学科 名誉教授)

玉造 洋祐(株式会社ユニオンファーム 代表取締役)

山田 敏之(こと京都株式会社 代表取締役)

監事:岩元 明久(一般社団法人全国農業改良普及支援協会 会長)

-----報道関係の方からのお問い合わせ先-----

一般財団法人 日本 GAP 協会 代表専務理事 荻野 TEL: 03-5215-1112 E-MAIL: info@jgap.jp